

ガバナンス

社会から信頼され持続的な成長ができる会社

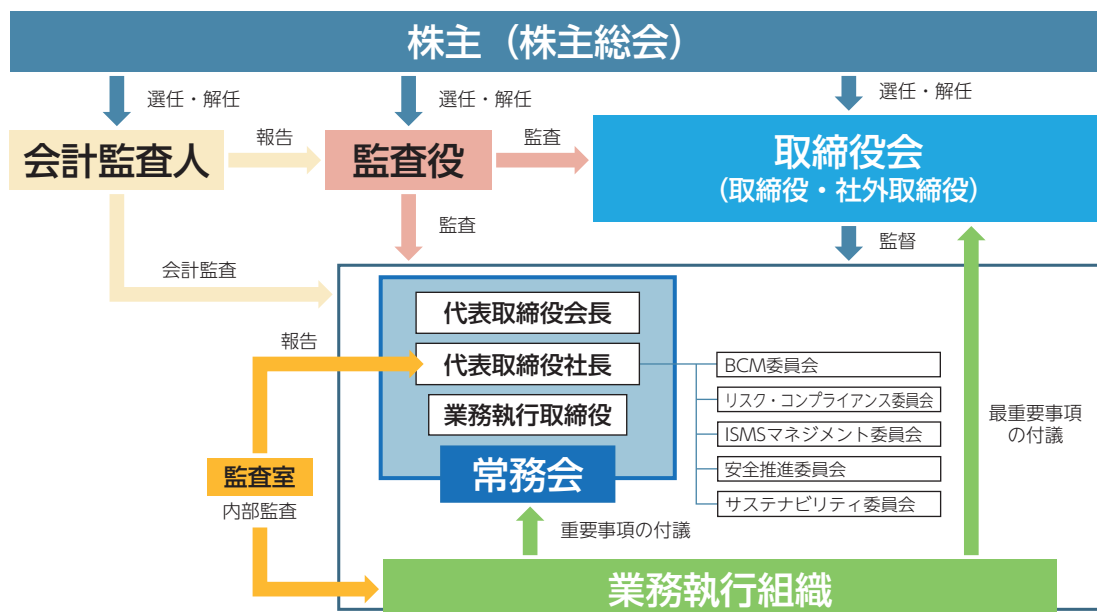
私たちが扱う化学品は、社会により豊かさや幸せを与えるものであり、その化学品産業の基幹をなすのが私たち物流事業です。物流業が産業の基幹をなしていることに誇りを持ち、社会的責任を果たします。

NRSグループの事業活動の基盤は「NRSグループ企業倫理綱領」です。「倫理に基づく行動」「法の遵守」「安全の重視」を基本に、主体性と自己責任に基づく良識ある公正な行動によりエクセレント・カンパニーとして広く社会から支持されることを目指します。

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

倫理に基づく行動と法の遵守、安全品質を徹底します。そして私たちは多様な人格と個性を尊重し、顧客、取引先、従業員、株主を含むすべてのステークホルダーとの健全で良好な関係を築きます。これらを実現するため、健全でかつ透明、公正、迅速な意思決定を行う最適なコーポレートガバナンスの追求をし続けます。

コーポレートガバナンス体制図



取締役会

経営の意思決定機関であり、重要な業務執行、経営戦略や方針を決定します。取締役の業務執行の監督および内部統制システムの構築など健全な業務運営を担います。

常務会

迅速な業務執行を目的とし、取締役会決議事項以外について定期的に審議します。その内容は取締役会に報告します。



監査役

取締役や執行役員の業務執行を監査します。また、コンプライアンスや会計等で適正な経営がなされているかを監査します。

監査室

業務執行部門から独立した立場で、業務の合規性・効率性・経済性・有効性を検証および評価し、その結果を取締役会等に報告します。監査役の職務執行について、その指示に従い補助業務を行います。

内部統制・法務・リスク管理部

NRSグループの内部統制システムの構築と運用管理、および経営リスクに関する情報収集・分析ならびに対応への取り組みに関する管理全般を行います。

リスクマネジメント

リスクを横断的に管理する社長直轄体制を敷いており、①2023年度より、コンプライアンスの適切な執行の監督と共にリスク管理も併せ議論・共有化する場としての「リスク・コンプライアンス委員会」、②事業計画に関する活動の方針や施策の審議決定を行う「BCM委員会」、③情報機器管理に関するISO27001認証を取得し、「ISMSマネジメント委員会」を設置しています。

リスク・コンプライアンス委員会

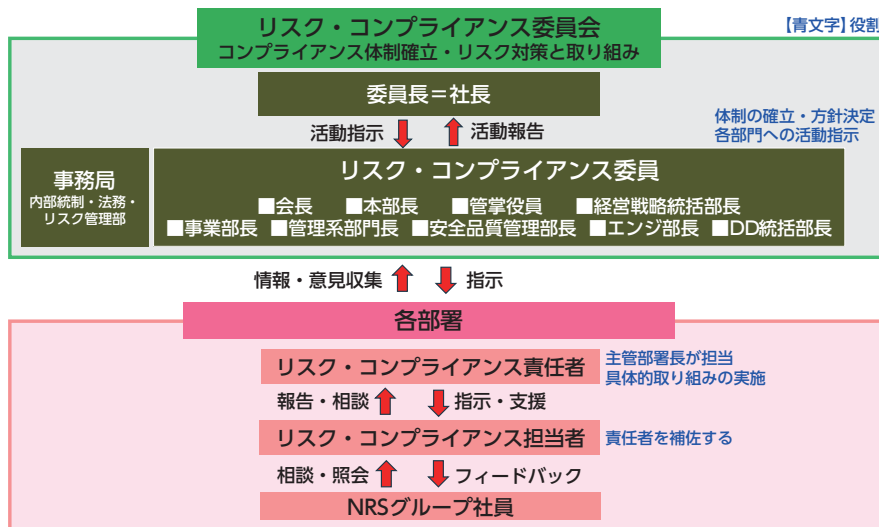
リスク・コンプライアンス委員会は、NRSグループにおける下記1-4の実施を目的に、コンプライアンス委員会に替わり新たに設置されました。

1. リスクとコンプライアンス意識向上の推進
2. コンプライアンス体制の確立と実践
3. グループ全体のリスク対策のための活動方針の決定
4. 各部門への活動指示ならびに活動状況の報告・確認

2023年度は、年間で2回開催、下記取り組みを行い、取締役会で報告をいたしました。

- ・全社が直面する主要リスクとその取り組み状況の共有化
- ・委員会が特定した「重大リスク」の対策検討結果の報告、議論
- ・カンントリーリスクの最新情報共有化と、リスク管理関係規程類の整備

NRSグループ リスク・コンプライアンス委員会体制



BCM委員会

危険物・化学製品・薬品等の輸送・保管、およびタンクコンテナ・リースで業界トップレベルのシェアを有するNRSグループは、大規模災害発生時や感染症のリスク下でも事業を早期に復旧し継続することが重大な社会的責任と考えています。社長を委員長としたBCM委員会の議論をもとに、事業所ごとの「事業継続計画（BCP）」を点検・見直すことで、継続的にサービス・製品を顧客に提供できる体制をとっています。

情報セキュリティ

2020年に情報機器管理に関するISO27001認証を取得。情報セキュリティ方針のもと、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を確立し、情報セキュリティを維持するための活動を実践しています。2022年10月に情報セキュリティハンドブック第5版を発行し、社員に周知徹底を図っています。また、多要素認証によるアカウント管理、PCやサーバーなどの従来のエンドポイント対策に加え、2023年9月グローバルでゼロトラストツールの導入を完了、人・機械の両面での対策を講じています。また、2023年7月 NRSグループDX戦略を策定、セキュリティとリスク管理については、完全性、機密性、可用性の向上を原則に改善活動を実施しています。顧客の大切な情報を絶対に漏洩させない、高度な物流を支えるシステムを止めないという考えのもと、セキュリティレベルのさらなる向上に努めていきます。

緊急事態への対応

当社では緊急事態に備えて様々な訓練を行っております。海上災害防止センター様と合同で緊急事態が発生した際の動きについて実際に災害対策本部を設置して訓練しました。緊急時も事業継続の可否を速やかに把握でき、万が一継続不可の場合でもグループ内で連携して事業を復活させ、継続的にサービス・製品を顧客に提供できる体制を整えています。



コンプライアンスの徹底

内部通報窓口

倫理綱領、法令、社内規程等に違反した行為、または、違反の疑いがある行為を早期に発見し是正を図るため、内部通報窓口を設置しています。

- ・内部通報窓口：国内社員向け、社内および社外（弁護士事務所）に設置
さらに、2023年4月1日より、海外社員のための社外内部通報窓口を設置
- ・通報・告発者の権利保護：公益通報者保護規程にて制定
- ・改正公益通報者保護法ガイドライン：準ずる

新輸出入管理体制による安全保障貿易管理の強化

国際社会が取り組む大量破壊兵器や関連貨物の不拡散という重要課題を会社として再認識し、安全保障貿易管理を強化するため、2021年11月より新体制で取り組んでいます。

1. 安全保障輸出管理規程により、組織体制、手続き、監査、教育、文書管理などを明確化しています。
2. 輸出承認手続きをシステム化（名称：楽々ワークフロー輸出管理）。輸入記録も含め、WEB上で文書ペーパーレス管理。
3. 新入社員向け勉強会の実施。定期的な国内全社員対象のWEB勉強会による意識向上に努めています。
4. 法令改正情報の入手と適時の伝達。今後は内部監査により、さらなる改善を図っていきます。

アンケート調査

国内全社員を対象とした、監査室によるアンケート調査を実施し、NRSグループにおける内部統制の整備状況について、社員からの意見収集および必要な対応を行いました。

各種研修・eラーニング

社員のコンプライアンス意識向上を目的に、eラーニングを計2回、また階層別の社員研修を実施しました。

